

'88

12月号

No.219号



第15回

幼稚園

おゆう

ぎかい

11/25

わたしたち
まいにち
いっしょうけんめい
れんしゅう
しました。



「ちびくろさんぼ・うさぎのディスコダンス・インディアンの大鼓など精一杯の演技より

助役・浜村正夫氏 北海道社会貢献賞を受賞



この度、町助役浜村正夫氏が、永年に亘り町職員として地方自治の振興発展に貢献したことが認められ、北海道社会貢献賞（自治功労者）を受賞されました。

氏は、昭和二十年九月に町職員となり、昭和四十八年四月からは助役として地方自治の発展に貢献されてまいりました。

63年度 教育委員会表彰

四人・三団体が表彰される

昭和六十三年度鹿部町教育委員会表彰式が、十一月二十四日鹿部中央公民館において行われました。

この表彰は、昭和五十年から毎年行われており、当町における体育の発展、興隆に寄与し、その功績顕著な方に贈られる鹿部町社会体育表彰と、鹿部町の青少年活動に顕著な功績のあった方、又は、他の

において優秀な成績をおさめ全道大会に出場されました。

○功績賞

小林 城 幸 殿

昭和六十三年度全道児童・生徒文芸作品コンクール作文の部において佳作を受賞されました。

○青少年活動表彰

○勤労青少年優良賞

道 辻 希 美 殿

渡島リハビリテーションセンターに栄養士として勤務し、入所者の栄養・健康管理に務めている、又他の栄養士の指導などに尽力されました。

○勤労青少年優良賞

小 泉 昌 子 殿

渡島リハビリテーションセンターに寮母として勤務し、入所者の介護に誠心誠意あたり、入所者の信頼も厚く、常に自己研鑽に努められました。

○学校教育表彰

○功績賞

柳 沢 秀 人 殿

昭和六十三年度中体連渡島陸上競技大会に

○社会体育表彰

○選手賞

野球スポーツ少年団

鹿部クラブプーズ 殿

昭和六十三年度第六回ホクレン杯争奪野球大会渡島大会において優勝、また全道大会にも出場されました。

○選手賞

オール鹿部野球部 殿

昭和六十三年度高松宮賜杯（第二部）全日本軟式野球北海道大会函館地区大会において優勝し、全道大会において第三位入賞をされました。

永年の納税活動 認められる

昭和六十三年度の納税表彰式が十一月十四日函館市民会館で行われ永年納税貯蓄組合の指導的立場にあつて納税貯蓄組合活動に尽力された功績が認められ鹿部町から二名が納税功労者として表彰されました。

函館税務署長表彰

高橋 孝雄 殿

（鹿部納税貯蓄組合連合会長）



渡島支庁長表彰

吉田 勝夫 殿

（前本別中央納税組合長）



あなたは完納しましたか？

税金の滞納が急増しています

ご承知のように鹿部町の国保会計は大きな赤字のた
 会計から1,000万円を繰入れながらも約
 赤字の大きな原因は、医療費の伸び
 納額の増加によるものが大きな要素
 その年に課税された保険税を滞
 り、翌年度も課税され、その支払
 として、渡島管内各市町村では
 村では実施中) 悪質滞納者の「
 導入実施すべく検討がなされ

保険税滞納
 だんだん厳しくなっています
 また国保制度

め、その解消策として昭和62年度は一般
 3,100万円もの赤字がでました。
 による支出額の増加、そして、保険税の滞
 となっております。
 納した場合、国民健康保険に加入している限
 負担はドツシリと重くなってきます。この対策
 昭和64年4月実施に向けて(南茅部町、楳法華
 保険証の返還(代りに資格証明書交付)制度)を
 ておりますので納入にご協力下さい。

1988年(昭和63年)3月29日(火曜日)

第3部 負担のゆくえん

消えた保険証

札幌市 国保料の悪質滞納者に 保険証返還を要求

厚田村が第1号

国保料滞納に処罰

医療費の給付停止も

保険証の返還請求へ

悪質者へ

資格証明書とは

国民健康保険に加入してい
 る方が、保険証の返還をされ
 た場合、代りに「受給資格証
 明書」を交付します。保険証
 では医療機関の窓口で全医療
 費の三割分を支払えばよいが、
 受給資格証明書では、窓口で

医療費全額を支払わなければ
 なりません。その支払った領
 取書を役場に持つてくると七
 割分を返還いたします。

医療機関窓口での
 支払が増加
 3割→全額

1月の救急病院

1月1日	南茅部町	国保病院	(南茅部町)	(2)3511
2日	砂原町	国保病院	(砂原町)	☎01374(8)3131
3日	南茅部町	国保病院	(南茅部町)	(2)3511
8日	渡島リハビリテーションセンター	診療所	(鹿部町)	☎(7)3321
15日	沢田	医療院	(鹿部町)	☎(7)2105
16日	砂原	国保病院	(砂原町)	☎01374(8)3131
22日	南茅部町	国保病院	(南茅部町)	☎(2)3511
29日	砂原	国保病院	(砂原町)	☎01374(8)3131

診療時間は午前9時～午後4時

海を歌う!

鳥羽一郎さん来町



11/11 出漁船を見送り 故郷で歌う「北斗船」 渡島リハビリで熱演

「兄弟船」「下北漁港」等ヒット曲を次々飛ばし人気上昇中の演歌の実力派、鳥羽一郎さんが十一月十一日函館公演に先だって、現在ヒット中の「北斗船」の題材となったオラが漁師町、鹿部町を訪れました。

作詞家星野哲郎先生が創作活動のため当町を訪れていますが、今年五月、鹿部町そして漁協定置番屋の若衆をモデルとして「北斗船」がレコード化され今年の古賀政男記念音楽大賞にノミネート、鳥羽一郎さんが歌謡番組等でテレビ出演しては「北斗船」を熱唱している姿はご承知の通りです。

当日、我が鹿部町は雪、この初雪の歓迎を受け来町した鳥羽さんは、男臭さの定置番屋で昼食をこ馳走になりながら語り合っていました。

その後、渡島リハビリを慰問、約二〇〇人の入所者や職員を前に軽妙な語り口で笑わせながらギターをつま弾きの独演会、「北斗船」やヒット曲を次々と熱唱し、職員とデュエットする一幕など、あまり外に出ることの少ない入所者にビックな楽しい時間を提案

供してくれました。リハビリを後にした鳥羽さんは、やはり海の物が大好物、近くの水産加工場へ寄りタラコなどの加工作業を見学、加工場の女工さん達に握手せめに合いながら「うちのオフクロさんは今でも海で働いている」等と語りかけ、今年のNHK紅白歌合戦には鹿部を題材としたこの歌「北斗船」で出場したいと女工さんに応援をお願いし鹿部を後にしました。

翌日の函館公演、そして最近のテレビ、ラジオで「演歌の似合う鹿部町はいい所だ」と語ってくれるなど思いがけない鹿部町の宣伝をしてくれました。



海の男
鳥羽一郎さんガンバレ



セツトがみだれる

NHK紅白歌合戦出場決定!!
演歌「北斗船」熱唱を約束します
鳥羽一郎より



鳥羽一郎さんへ
定置網従業員一同も
応援します
ケツパレ・鳥羽一郎!!



熱心にメモをとるお父さん達

男の味？

成人教養講座 「男性料理教室」

10/20

料理は女性だけのものではないと、最近のグルメは食べることから自分で自分にあつた味付をと。十月二十日、鹿部ロイヤルホテル料理長、黒田隆志さんと洋食チーフ、神哲(かみ)さんを講師に招き、エプロン姿で男性達がステーキ・スープ・サラダなどのプロの腕前を目の前で勉強いたしました。

公民館講座の一つとして本年度初めての試みとして、男性を対象とした料理教室が十月二十日公民館で行われました。

午後六時エプロン姿に身を包んだ出席者十七名の方々が、鹿部ロイヤルホテル料理長と洋食チーフ二名の特別講師から材料、作業手順等の説明を聞き、さつそく、サーロインステーキの焼き方、スープ・ステーキ用ソース・ドレッシングの作り方を約一時間半かけて勉強しました。

講習会終了後、ワインを飲みながら試食いたしました。なかなかの出来ばえに出席者一同満面笑顔で、やればできるという自信がついたようです。

ご家庭の中でも、たまには男性料理を楽しんではいかがでしょうか。

☎ ご連絡下さい。

社会教育では、成人教養講座の中で皆様からのご要望にこたえて今後も事業を実施し、たく考えておりますので、ご意見・ご要望がありましたら教育委員会までご連絡下さい。

町民バレーボール大会

10/11

ママさんバレーボールチーム(コスモス) 優勝

町民バレーボール大会は十月二十日午後六時から七チームが参加して小学校体育館で行われました。

試合はトーナメント方式で行われましたが、さすがに毎週二回練習をしているママさんが随所にファインブレイを出し、見事優勝しました。

◎新部員を募集します◎

鹿部ママさんバレーボールチーム(コスモス)は毎週二回(月・水曜日)午後七時三十分から青少年会館で練習を行っております。最近の管内の試合でも準優勝する等、実に練習の成果が上っております。おまちしています！ママ！！



優勝したママさんバレーボールチームの面々

えぞのてぶり紀行文 〈最終回〉

▽町史編集室だより▽



わたしはこの蝦夷の島に来て三年四年を過ぎたけれど、このようにたくさんさんの螢のいるのを見たのははじめてなので、ほんとうに珍しく、外に出てしばらくたらずんで見ていた。

―夕まぐれ泉郎のたく火も影そへてあしの丸屋にほたるとぶなり―

こうしてその夜は更けた。

三十日、朝から雨雲におおわれて、やがて、小雨がしとしと降りはじめた。今日は徒歩でいくことにしようか。昨日今日たどって来た路は、シリベツの嶽がよく見えるところで、近くのスクノへの山でさえも雲が深く、そこがどこかわからない。空は暗く、雨も降るだろうし、河水も出て深いだろうから、今日だけはここに止まるようにと運上家の主人がいうので、私もあきらめて笠を脱ぎ、足結もとって、また家に入って休ませてもらった。ここの運上家をたずねて来る人毎に「今日の鎌おろし〔天註〕夏の土用に入る日から昆布を刈り初めるのが毎年の仕来たりで、その掟（規則）は甚だきびしい。」は、海が荒れつづいて、ぢりだけ

が降っているの（天註）霧をぢりと訛っているのである。小雨がしとしと降るのをコシ雨といふ。田舎のどこでも糖雨、またはこぬかさめといひ、ちりちり雨などというのを音が濁ってザリ／＼雨といふ略したのか）アイヌと和人がまじって住むこの村の人々は、気がふさぎこんで（天註

―蝦夷人にまじって住むのは通辞、番人あるいは年越り人などが住んでいる。またこの村の人も昆布採り舟をつないで集っている〕髪をなでて、あくびなどして、よいなぎの

ないのを歎いている。丁度その時、巡文（廻状）がどいた。主人がこれをひらいて見て

「この頃、やませの風が吹き続いて、出稼の船共が、遅れて浦々に着いたので、今年の鎌おろしの日は無月（六月）の二日と定めることにする」と書いているのを読みあげるので聞いたので、浦人たちは、「これで風待ちの心配がなくなった」と喜んで「ああ、うれしい」と皆こを去った。

こみあふれたる汐もみな引いてしまい、ほんとうに浅くなったので越ようと（天註）南部田名部のあたりにもスクノへという地名を聞いたことがある。里の人は文字を宿野辺とあてている。〕

―海近きたきつはや川ふかければ汐のひるまを待渡りぬる―

堤のようなどころに家が五、六軒たち並んでいるホンベツ（本別）というところがあつた。小川あれば、どこにもある地名である。母呂米浜という処に一箇石というところがあつて、そのいわれがあるという大きな岩がある。思いがけなく風がなくなり雨が降ってきた。

―ふらばふれぬるもいとほじ五月雨もけふをなごりの雨づつみして―

―路のべの朴の木欄風すぎて露吹きこぼす風の涼しさ―

相泊に来た。このあたりは熊が大そう多く、放牧している野原の馬を度々殺してひきちぎって食うということなど道案内の者の話すのを聞いて、身の毛もよだち、そぞろ寒さを覚えながら、摩都也か碓（松屋か崎）〔天註〕蝦夷語だろうか、または和人の言葉で松屋か崎なのか〕まできて、

高い岸に立つてはるかに望むと、みたにの底をみるように海辺を見おろすと、波の寄せ

る岩の上に青草だけを集めてつくったような家から、煙りが細く立ちのぼっているのは、漁師などの仮り住いの小屋をつくって住んでいるのだろう。道のことを尋ねたいと思ひ、案内人を先に遙るばると九折の坂道を下りきって草家をのぞくと、八十歳余りのアイヌ老人がいた。髪も髭もまっ白で、若い婦人二人が中に幼女をかいなでていたが、みな外に出て来て、昨日エトモのコタンから漁のために舟にのってきたということだけ知らせたが、和人の言葉を片言も知らないアイヌ達なので、またこちらでもアイヌの言葉を知ら

ないので、通じあう方法もなく、アイヌも私たち和人もみなおし黙ったままで、無口のうちに、口に出さないが、手と眼の動きを見るは、それらしきことを知らせあつて、しばらくは語りあう思いのうちに憩いすごしていた。

アイヌ達は、鯀鮫(まんぼう)という魚の脂肪を楡桶に入れて、鱒(いるか)の肉を岩の上に掛けひろげ、陽に干して腐らせ(ほじし)として食べる。その臭いは何とも耐えられないほどである。このなかのシウランコという婦人を道案内に頼んで、手荷物(たてもの)も持ってもらうと、タアレという鉢巻のようなものを頭に引っかけ荷の緒にして、軽がると額の力で背負って立ち歩き、峻しい坂路を駆け登って立つ立ちどまり、チラマンデ・ポロノオカイ・コタンというのは、ここは熊の多い処というアイヌ語だと聞いて、今更のように恐ろしさがかくわるおもいで急いでいくと境川というところがあった。この領地の境いである。ここに坂井明神という「うなばらの神」として祭っている小祠がある。ここを過ぎ

てゆき夕暮れ近くにサワラ(砂原)という所に着いた。

こうして寛政三年(一七九一年)五月二四日福山(松前)を発ち有珠山詣での旅は続いたのである。

砂原の浦の淡海屋という宿に一泊し、森、落部、八雲、野田追などを経て三十八才で有珠山に登頂し、有珠山詣でも終えて青森県むつ市に滞在、恐れ山や下北半島へ巡りながら旅をさらに続け、津軽藩の採葉御用に命ぜられたが、のち津軽藩を追放され、秋田に入国し、故郷の三河尾張へ一時帰えり、八郎湯南秋田の男鹿、大館付近で原始古代の調査をし秋田領地誌編さんにあたる。

文政五年(一八二二)秋田の明德館に日誌類五十一冊を献納、その後佐竹藩の地誌作製に着手、七六歳で角館にて没するのである。

(終り)

鹿部町ミニ健康フェスティバル

- コンピューターによる健康判断
- 乳ガンの自己検診法
- ボケ予防

11/23



自分の健康は自分で守ろう

町民の健康教育の一環として、十一月二十三日鹿部中央公民館において「鹿部町ミニ健康フェスティバル」が開催され、町民の方々がコンピューターによる健康診断などを受けました。

公民館のロビーには北海道対がん協会の統計資料「ガンについて」が展示され、最近増加傾向にある子宮ガンや肺ガンについて数値をもとに説明されていました。

メイン会場となった大ホールには「循環器・ボケ予防・ガン予防・

血圧・栄養・運動」の六シリーズに分けてパネルが展示され、その中の運動シリーズでは「現代人は車社会のため運動量が不足し、肥満になりやすい体質となっているので定期的な運動を心がけ、健康で長生きしよう」ということをとりあげていました。

健康チェックコーナーでは血圧・身長・体重・握力・肺活量・背筋力・視力などの測定が行われました。また、日常生活状況の細かい質問に回答してコンピューターで判定する健康診断も行われました。血圧・心臓に対する健康管理のアドバイスや、運動と栄養のアドバイスや、運動と休養、食生活など日常生活を健康で楽しく過ごすための総合的なアドバイスがコンピューターから打ち出され、いつもとは違った健康診断になりました。

ビデオコーナーでは「乳ガンの自己検診法」や「高血圧と塩」と題したビデオを放映しました。

◎ボケ予防シリーズより◎
ボケ予防シリーズでは、「ボケの見分け方」・「ボケの始まるきっかけ」などのパネルが展示されました。

ボケは病中病後などに脳への刺激が不足したり、急激な生活環境の変化(例えば、仕事をやめる)によって始まることが多く、ボケを分類すると脳の血管が詰ったり破れたりしておこる脳血管性痴呆や、脳の萎縮によっておこる老年痴呆、また、原因不明で早い人では四〇〜五〇歳代で現れるアルツハイマー病などがあります。多くは脳の障害がボケの始まりとなっています。

日本人に一番多いのは、高血圧が原因でおこる脳血管性痴呆です。予防としては塩分のとり方・肥満・運動不足・タバコ・ストレスの五項目について日常生活の中で配慮することが大切です。

午後六時から行われた家庭介護の講習会では、寝たきり病人を介護するにあたっての心がまえや寝まきの工夫、家にあるものを利用して作った介護用品が紹介されました。その後、お互いがモデル・介護者になって実際に体を動かしてみました。

「鹿部町ミニ健康フェスティバル」は、来年度も実施することを計画しております。

町民の生命を守る
救急自動車
8年ぶりに更新



「11月9日を119番の日に設定」
消防が自治体消防として発足以来四十年を迎えるにあたり、一層の発展を期するため、既に設定されている「消防記念日」(三月七日)に加え、防火・防災意識の高揚を図るための日として新たに「一一九番の日」を設定。

救急車がくるまでの応急手当て①

適切な止血が命を救う

昨年1年間の救急車の出動回数は、全国で約243万回でした。1日にすると6,649回、13秒に1回の割合です。

このように、生命にかかわるような病人やケガ人を救うために救急車はなくてはならない存在ですが、それと同時に大切なのは、救急車が到着するまでの間の応急手当てです。

そこで、応急手当てのなかでも特に重要な「止血」の方法についてみてみましょう。

▶人間の血液量は4～5リットル

人間の血液は、体重60キログラム程度の男性でふつう4～5リットルぐらいで、その2分の1以上が失われると重体になります。たとえ助かったとしても、病院での治療が長びく恐れがあります。ケガ人の出血がひどいときは、必ず止血をして救急車の到着を待ちましょう。

＜圧迫包帯による止血＞

厚く折りたたんだ布を傷口に当てて圧迫します。その上から包帯を強めに巻きます。傷口に当てる布は、できるだけ清潔なものを使いましょう。

それでもまだ血が止まらないときは、先に巻いた包帯はとらず、その上から、さらにも



- 布は清潔なものを
- 包帯は強めに巻く

う一度少し強めに包帯を巻きます。

＜指圧止血＞

圧迫包帯止血の準備ができるまでの間や、出血が多いときに圧迫包帯止血と併用する一時的な止血法です。血の流れを指圧によって止め、出血をおさえます。

やり方は、心臓から傷口に通じる動脈を、親指などで骨に向かって押さえつけます。

止血をするときは、出血の量にあわせてたりせず、落ち着いて行うことが肝心です。



- 指圧によって一時的に出血をおさえる

前 年 比 較

区分 年	急病	交通	一般	その他	出動件数小計	
					管内	管外
62年	62	18	11	20	111	90
63年	38	19	7	27	91	54
増減	▲24	1	▲4	7	▲20	▲36

鹿部町の救急車
出動件数 11/1 現在



今年が辰年なので、昨年暮れのお歳暮は、竜のおとし子が話題になりました。

今年も、来年の巳年にちなんで、マムシやハブを材料に

使って「スタミナ」を売ろうという、奇をてらったギフトも出ているようで、歳末商戦もいよいよピークを迎えようとしています。

もともとお歳暮は、親や仕事上の親方など目上の人の健康を祝福するために、米やもち、魚などを携えて出向いたことから起こった風習のようです。今も、「親の膳」な



お歳暮

どとって、正月や盆に魚をそえた膳を親元に持参するところがあつたようです。そのあと目上の人からお返しをするのが普通とされています。時期的には、十二月の二十日から一週間ぐらいの間が一般的です。

最近では、商品券などがかなり出回っているようですが、れども、まだまだ現物が多いうです。

ところで、年末年始は一年のうちでも最も荷動きの激しい時です。もちろん、人の往来も盛んです。このため、一度事故が発生すると、事故につながる恐れが多分にあります。

そこで運輸省では、十二月十日から一月十日まで「年末年始の輸送等に関する安全総点検」を実施します。

この時期、マイカーの整備をふだんよりも念入りに行うとともに、運転も車間距離を十分とるなど、慎重にしたいものです。そして、シートベルトをくれぐれもお忘れなく。

まろい料理でビタミンC

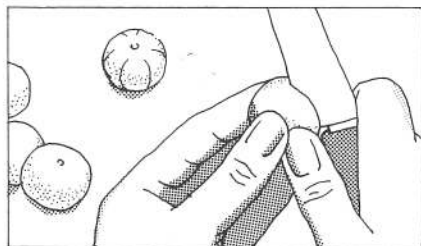
きんかんの皮にはビタミンAとCがたくさん含まれています。昔から咳にもきくといわれ、きんかんを水と砂糖でせんじたものを熱いうちに飲んで、薬にしていたそうです。

きんかんを甘く煮た甘露煮は焼き魚のあとの口直しや、お茶づけなどにいいものです。また、おせち料理の一品とすると、おせち料理に不足がちなたんぱく質やビタミンAやCを補うことができます。

- 【材料】
- きんかん……………五〇〇g
 - 砂糖……………二〇〇〜二五〇g
 - (きんかんの重さの四〇〜五〇%)
 - 水……………カップ一

① きんかんは、包丁の刃元で縦五、六間隔に切り込みを入れます。こうすると種が出しやすく、苦

イラストA



包丁の刃元を使って切り込みを入れます。

おせち料理に きんかんの甘露煮を

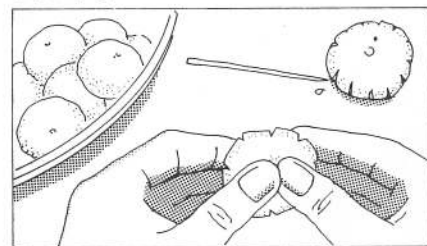
② たつぷりの湯で二〜三分ゆてます。ゆて汁は捨てます。

③ きんかんは上下から指で押しつぶし、竹串などをを使って種を取り出します。種を出したら、形を元のように整えます(イラストB)。

④ 鍋にきんかんを水を入れてふたをし、中火で煮ます。

⑤ 砂糖を三〜四回に分けて加え、こげつかないように、ときどき

イラストB



上下から押しつぶして、皮の間から種を取り出します。

上下を返しながらか、紙ぶたをして弱火で三〜四十分間煮含めます。

⑥ 冷蔵庫に入れば、一〜二か月もちます。

シロップにつけて 保存する

もし、もっと長く保存する場合は、消毒したびんにきんかんを入れ、別に作ったシロップ(水カップ半に、砂糖一〇〇g)を熱いうちに注いで脱気、殺菌をします。

こうすれば冷暗所で一年はもちます。

あるいは煮含めたあと、そのまま冷凍しても一年ほどもちます。解凍するときは室温で。

冬の交通安全と除雪対策!!

路上のめいわく駐車

やめましょう。
道路はガレージではありません。
たった一台の身勝手な路上駐車は、
除排雪作業や緊急自動車の出動を妨げ、
冬道の安全、円滑な交通の大きな障害

●道路の車庫がわり使用の禁止：何人も、
道路上の場所を自動車の保管場所として使
用してはならない。(保管場所法5条)
■罰則：3月以下の懲役又は3万円以下の罰金
▼違反点：2点

自宅周辺の歩道等の除排雪に協力し、
道路を広く安全に利用しましょう。

冬道は危険がいっぱい。
車がスリップしやすい 道幅が狭くなる 視界が悪くなる

とび出し厳禁
歩行者も車に十分気をつけて、
安全をよく確かめて通行しましょう。

注意 ①右側通行の原則を守り車と対面して歩く。②道路で、スキーやそり遊びをしない。
横断はとまって、よく見て、確かめて!!

危険です!!

急

ブレーキ
加速
ハンドル

発行/鹿部町 編集/企画管財課 製作/久保内印刷

松川晃久	宮西大祐	小野ユキ	佐藤ユキ	小藤ミ	修理利美
四四歳	八三歳	八二歳	四七歳	八七歳	五三歳
宮部	鹿部	鹿部	大岩	鹿部	宮部
浜					浜
					所



おくやみ
もうしあげます

木村唯広	坂本宣本	中村裕美	村田有希	氏名
				父
				住所
				別
				別



おたんじょう
おめでとう

世帯と人口

63年11月30日現在
()は前月比です。

世帯数	1,414世帯 (±0)
男	2,556人 (-2)
女	2,559人 (-5)
計	5,115人 (-7)

戸籍の窓